【Ⅰ】　次の風刺画は、イギリスの新聞 *The Daily Express* に 1935 年に掲載されたもので、当時の国際情勢を表しています。下記の１～９の問いに答えなさい。

著作権の関係により、風刺画は非公開

左の壺の下には「ABYSSINIAN POTTERY（アビシニアの壺）」と書かれています。壺の上に座っている人物は、当時のイタリア首相です。中央の「LEAGUE」と書かれた人物は、国際連盟（League of Nations）を表しています。右の「CHINA（中国）」の壺には、「NORTH（北部）」（華北など）と書かれており、壺の中から顔を出している人物は、日本を示しています。

問１　左の壺の上に座っている人物は誰ですか。

問２　「アビシニア」はアフリカにあった当時の国名ですが、現在の何という国ですか。次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　エジプト　　イ　エチオピア　　ウ　スーダン　　エ　モロッコ

問３　「アビシニア」問題と国際連盟に関して述べた文として誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　アビシニアは、国際連盟の加盟国であった。
イ　イタリアとアビシニアの２国間問題にとどまらず、国際問題に発展した。
ウ　国際連盟がイタリアへの経済制裁を決議したため、イタリアはアビシニアから撤退した。
エ　この後、イタリアは国際連盟から脱退した。

問４　この風刺画が新聞に掲載された 1935 年よりも後にイタリアに関しておきた出来事を、次のア～キのうちから二つ選びなさい。

ア　第一次世界大戦で敗北した。
イ　世界恐慌による経済危機に対応するために、オタワ連邦会議を開催し、連邦内の関税をさげ、連邦外の国々に高関税を課す、ブロック経済政策をとった。
ウ　ローマ進軍の後、一党独裁体制が確立した。
エ　総選挙で第一党となった政党が中心となって議会で全権委任法を通過させたことにより、一党独裁体制が確立した。
オ　ドイツとベルリン＝ローマ枢軸を結成した。
カ　ブルムを首班とする人民戦線内閣が成立した。
キ　スペイン内戦ではフランコ反乱軍側を支援した。

問５　右の壺が表している中国をめぐる当時の情勢を述べた文としてもっとも適切なものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　満洲事変の後、日本軍は内モンゴルや華北への侵攻を進めていた。
イ　蔣介石が上海クーデタで成立させた第一次国共合作により、抗日民族統一戦線が成立していた。
ウ　盧溝橋事件をきっかけに日中戦争が始まっていた。
エ　日本軍が南京を占領した。

問６　この風刺画が新聞に掲載された 1935 年の前後数年間に中国でおきた出来事について述べた次の文Ａ～Ｃが、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、次の選択肢ア～カのうちから一つ選びなさい。

Ａ　張学良が蒋介石を捕らえて共産党との協力を求める西安事件がおきた。
Ｂ　共産党が本拠地を瑞金から延安に移動する長征を開始した。
Ｃ　国民政府は、日本軍に占領された武漢から重慶に首都を移して抗戦を続けた。

ア　Ａ→Ｂ→Ｃ　　イ　Ａ→Ｃ→Ｂ　　ウ　Ｂ→Ａ→Ｃ
エ　Ｂ→Ｃ→Ａ　　オ　Ｃ→Ａ→Ｂ　　カ　Ｃ→Ｂ→Ａ

問７　その後、1939 年 8 月に独ソ不可侵条約が締結されると、日本では平沼騏一郎内閣が「欧州情勢は複雑怪奇」と述べて総辞職しました。独ソ不可侵条約の締結がなぜ「複雑怪奇」であると捉えられていたのか、説明しなさい。

問８　その後、日本は、イギリスなどによる援蒋ルート（蒋介石の国民政府を支援するルート）を断ち切ることをねらって、1940 年 9 月にフランス領インドシナ北部に進駐しましたが、この出来事と最も関連するヨーロッパでの出来事を、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　ドイツ軍がポーランドに侵入した。
イ　ドイツ軍がパリを占領した。
ウ　スターリングラードの戦いにより、ヨーロッパでの戦局が転換した。
エ　イタリアが無条件降伏した。

問９　アビシニアと中国のそれぞれにイタリアと日本が支配を広げていた状況に対する国際連盟の対応について、風刺画の描かれ方からどのようなことが読み取れますか。

【Ⅱ】　次の表は、1960 年、1970 年、1980 年における「世界各地域の輸出シェア」を比較したものです。下記の１～５の問いに答えなさい。なお、国の分類はこの表にしたがうものとします（例えば、日本は資本主義諸国であり、アジアの国でもありますが、この表ではそれぞれに含まれていません）。

	1960 年	1970 年	1980 年
資本主義諸国	65.9%	70.9%	62.6%
アメリカ合衆国	15.9%	13.5%	11.0%
西ドイツ	8.9%	10.8%	9.7%
イギリス	8.0%	6.1%	5.5%
日本	3.2%	6.1%	6.5%
発展途上諸国	21.9%	18.4%	28.7%
産油国	6.1%	5.9%	17.6%
アフリカ	4.2%	4.1%	4.7%
アジア	9.5%	8.1%	17.8%
社会主義諸国	11.7%	10.7%	8.7%
全世界	100.0%	100.0%	100.0%

石見徹『国際経済体制の再建から多極化へ』31 ページ　より作成

問 1　1960 年から 1980 年にかけての変化について、この表から読み取れることを、次のア～キのうちから二つ選びなさい。

ア　資本主義諸国の輸出量の合計は、1960 年から 1970 年にかけて増加しているが、1980 年には減少している。

イ　全世界貿易に占めるアメリカ合衆国の輸出シェアは、減り続けている。

ウ　1960 年の発展途上諸国の輸出量の合計は、1980 年のイギリスの輸出量の約 4 倍である。

エ　全世界貿易に占める社会主義諸国の輸出シェアは、増え続けている。

オ　どの年も、アジア諸国の輸出量は、西ドイツの輸出量を上回っている。

カ　1970 年の産油国の輸出量は、1980 年のイギリスの輸出量を上回っている。

キ　1980 年において、西ドイツの輸出量は、イギリスの輸出量を上回っている。

問２　1960 年と 1970 年の全世界貿易に占める日本の輸出シェアを比べると、急増していることが分かりますが、その経済状況について述べた文としてもっとも適切なものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　占領下の緊縮財政により、国の財政が安定していた。
イ　朝鮮戦争が特需をうんでいた。
ウ　政府は「国民所得倍増計画」を策定し、高度経済成長がもたらされていた。
エ　固定相場制から変動相場制に移行したことにより、急激な円高が進んでいた。

問３　1970 年と 1980 年のデータを比べると、資本主義諸国については各国も全体も輸出シェアが減っているのに対して、産油国の輸出シェアは増えています。このことに関連する出来事について述べた文として適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　第４次中東戦争がおきた。
イ　世界的な経済問題に対応するために先進国首脳会議（サミット）が毎年開催されるようになった。
ウ　アメリカ合衆国のニクソン大統領が、ドルと金の兌換停止を発表した。
エ　石油輸出国機構（OPEC）が原油価格を大幅に引き下げた。

問４　1970 年と 1980 年のデータを比べると、アジアの輸出シェアも増えています。その理由として、1970 年代にアジアの新興工業経済地域（NIES）が急速に経済発展をとげたことがあげられます。特に工業化による経済成長が著しく、アジア NIES と総称されていた四つの国・地域のうち、二つの国・地域を答えなさい。

問５　先進国と発展途上国との間の経済格差は「南北問題」と呼ばれるのに対して、発展途上国間の経済格差は「南南問題」と呼ばれることがありました。1970 年から 1980 年への輸出シェアの変化から、発展途上国間でどのような経済格差が生じていたことが読み取れますか。問３と問４も参考にしながら説明しなさい。

【Ⅲ】　次の文章を読んで、下記の 1 ～13 の問いに答えなさい。

著作権の関係により文章は非公開

問 1　下線部(1)に関連して、19 世紀後半から 20 世紀の中盤にかけての時期におきた出来事について正しく述べている文を、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　アヘン戦争でイギリスが清に勝利し、南京条約が結ばれた。
イ　「滅満興漢」をとなえた義和団に対して、清は 8 か国の連合軍とともに共同出兵にふみきり、反乱を鎮圧した。
ウ　アメリカ合衆国では、南北戦争終結の後、最初の大陸横断鉄道が開通した。
エ　第一次世界大戦では、イタリアはドイツやオーストリアと同盟して戦った。

問２　下線部(2)に関連して、この戦争の結果、ドイツ帝国が成立してドイツ統一が実現しましたが、その中心となった「普」は何を指しますか。国名を答えなさい。

問３　下線部(2)に関連して、この戦争で敗れたフランスでは、第二帝政が倒れました。フランス第二帝政に最も関係のない事項を、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　ナポレオン３世　　イ　インドシナ出兵　　ウ　メキシコ遠征
エ　ハイチの独立

問４　下線部(3)に関連して、第一次世界大戦が始まるまでの出来事について述べた次の文Ａ～Ｃが、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、次の選択肢ア～カのうちから一つ選びなさい。

Ａ　オーストリア帝位継承者夫妻が、セルビア人民族主義者に暗殺された。
Ｂ　第２次バルカン戦争でブルガリアが敗れた。
Ｃ　オーストリアがボスニア・ヘルツェゴヴィナを併合した。

ア　Ａ→Ｂ→Ｃ　　イ　Ａ→Ｃ→Ｂ　　ウ　Ｂ→Ａ→Ｃ
エ　Ｂ→Ｃ→Ａ　　オ　Ｃ→Ａ→Ｂ　　カ　Ｃ→Ｂ→Ａ

問５　下線部(3)に関連して、第一次世界大戦後の 1919 年 8 月に、当時世界で最も民主的といわれたドイツ共和国憲法が制定されました。この憲法は、憲法制定のための議会が招集された都市名から通常何と呼ばれていますか。

問６　下線部(3)に関連して、第一次世界大戦後のフランスとドイツに関わる出来事について述べた次の文Ａ～Ｃが、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、次の選択肢ア～カのうちから一つ選びなさい。

Ａ　フランスとベルギーの両軍が、ドイツの賠償支払いの不履行を理由に、ルール占領を強行した。
Ｂ　ドイツが国際連盟に加入した。
Ｃ　フランスとドイツも含めたヨーロッパの７か国で、ドイツ西部国境の現状維持やラインラント非武装化等を内容とするロカルノ条約が結ばれた。

ア　Ａ→Ｂ→Ｃ　　イ　Ａ→Ｃ→Ｂ　　ウ　Ｂ→Ａ→Ｃ
エ　Ｂ→Ｃ→Ａ　　オ　Ｃ→Ａ→Ｂ　　カ　Ｃ→Ｂ→Ａ

問７　下線部(4)に関連して、第二次世界大戦が終結した 1945 年におきた出来事について述べた次の文Ａ～Ｃが、月日の古いものから順に正しく配列されているものを、次の選択肢ア～カのうちから一つ選びなさい。

Ａ　ソ連が、日ソ中立条約の規定を無視して、日本に宣戦した。
Ｂ　連合国によってベルリンが占領され、ドイツが無条件降伏した。
Ｃ　アメリカが、広島に原子爆弾を投下した。

ア　Ａ→Ｂ→Ｃ　　イ　Ａ→Ｃ→Ｂ　　ウ　Ｂ→Ａ→Ｃ
エ　Ｂ→Ｃ→Ａ　　オ　Ｃ→Ａ→Ｂ　　カ　Ｃ→Ｂ→Ａ

問８　下線部(5)に関連して、フランスのシューマン外相の提案により、1952 年にフランス・西ドイツなど６か国を原加盟国とする ECSC が発足し、現在の EU（ヨーロッパ連合）にもつながるヨーロッパ地域統合の動きが始まりました。ECSC は、加盟国間で資源の共有をめざす共同体であり、このことにより「独仏間の友好関係」が促されることにもなりました。ECSC の一文字目の「E」は「ヨーロッパ」、四文字目の「C」は「共同体」を指しますが、二文字目の「C」と三文字目の「S」が示している資源はそれぞれ何ですか。

問９　下線部(5)に関連して、フランスのシューマン外相らとともに、戦後の独仏間の協調を進めた西ドイツの初代首相（在任 1949～63 年）は誰ですか。次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　エーベルト　　イ　シュトレーゼマン　　ウ　アデナウアー
エ　ブラント

問 10　下線部(6)に関連して、現在のウクライナの首都を中心に、9 世紀にノルマン人の一派が建設した公国は何ですか。

問 11　上記の問 10 の公国について正しく述べている文を、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　10 世紀末にウラディミル 1 世がギリシア正教に改宗してこれを国教とした。
イ　12 世紀から 14 世紀にかけて、エルベ川以東への東方植民がおこなわれた。
ウ　13 世紀にはオスマン帝国の支配下に入った。
エ　15 世紀前半、コンスタンツ公会議でフスが火刑に処された後も、フス派の反乱が長く続いた。

問 12　下線部(7)に関連して、ECSC などの 3 つの共同体が合併してヨーロッパ共同体(EC)が成立した 1967 年、東南アジアの 5 か国で結成された組織は何ですか。

問 13　下線部(8)に関連して、現在の私たちの社会のシステムや思考において、「歴史的に形成され」てきたと考えられることは何ですか。一つ事例を取り上げ、それがどのように「歴史的に形成され」てきたものであるのか、論じなさい。なお、取り上げる対象はヨーロッパの事象でなくてもかまいません。